

仙台市基本構想・基本計画（答申）の概要

仙台市総合計画 2020 - ひとが輝く杜の都・仙台をめざして -

人口・経済・環境・財政などの制約が高まり、仙台でも急速な高齢化や人口減少が展望される厳しい時代

市民力と都市個性を生かし、質の豊かさを高める都市づくりに向けた知恵と協働による変革を推進

東北を支え、未来に希望をつなぐ「誰もが心豊かに暮らし続ける『ひとが輝く杜の都』」の実現

<主な特色・強調点>

1 都市個性を生かす政策の推進

市民共有の仙台の都市個性と言うべき学都・健康都市・杜の都・中枢都市の方向性を発展させた4つの都市像をめざし、選ばれる魅力的な都市として進化し続けていく。

めざす都市像

未来を育み創造する学びの都 - 未来につなぐ多様な価値や個性を創り続ける輝く学都 -
支え合う健やかな共生の都 - やすらぎに満ち、心豊かな暮らしを支える安心・健康都市 -
自然と調和し持続可能な潤いの都 - 低炭素型の都市システムを持ち、魅力的で暮らしやすい杜の都 -
東北を支え広く交流する活力の都 - 魅力と活力にあふれ、世界とつながる中枢都市 -

都市像の実現を牽引する「4つの重点政策」の推進

都市像の実現に向けて総合的に取り組む「分野別計画」の推進（2分野・319施策）

2 市民協働と地域の重視

市民力を生かす協働のまちづくり

市民の知恵や力が、都市の課題解決や新たな魅力創造につながるとともに、自己実現や心の豊かさに結びつき、暮らし続けたいと選ばれる都市にしていく推進力に。

地域団体やNPO、企業や大学、シニア世代や若者・子どもたちなど、多彩で幅広い主体を育成・拡大しながら、多面的に生かす協働のまちづくりを推進。

地域政策の充実強化

市民の暮らしの基本である地域を重視し、区役所を「地域協働拠点」へと進化させ、組織横断的な対応を広げながら、地域特性に応じたきめ細かな地域づくりを推進。

区別計画の大幅な充実

新たに「区の将来ビジョン」を掲げ、区役所と地域の協働により、その実現を推進するとともに、地域特性などが類似する圏域ごとのきめ細かな施策を展開。

3 都市経営システムの変革

財政制約が高まる中、未来に責任を持ち都市を経営する視点を重視して、地方の時代を先導する都市経営システムの変革を推進。

市役所の自己変革

総合計画推進と両立する持続可能な財政基盤の確立、創造的な都市経営力の発揮。

公共施設の経営改革

整備拡張から現有施設の保全・活用重視への転換に向けて、施設運営の領域や役割の再構築を図りながら、中長期的な視点に立った総合的なマネジメントを推進。

市民協働による計画の実効性確保

基本計画の基本目標に関し、実施計画の指標や市民意識調査の状況を踏まえて市民協働による適切な評価・点検を行い、次年度予算への反映に努めるなど、実効性確保の取り組みを推進。

基本構想：21世紀半ばを展望し、めざす都市の姿の実現に向け取り組む指針

基本計画：基本構想の計画的な推進に向けた平成23-32年度の10年間の長期計画